



**問** これからは学校運営協議会の委員にアートの要素を

学校運営協議会の委員には、従来のエビデンスを土台にしたサイエンスおよび経験を土台にしたクラフトに加えて、これからはアイデアを土台にしたアートの要素が必要だと考えるが、どうか。

**答** 新しい発想や感覚を持った人も委員に必要であると考えている

アートの要素が新しい発想や新しい価値観等であるとすると、津市の教育で大事にしている非認知能力の育成にもつながるものであると考えている。

現在、学校運営協議会は、地域学校協働本部と一体となって両輪で地域学校協働活動を行っている。地域には、色々な力を持った方がいることから、学校運営において子どもたちの非認知能力を育成していくためにも、そのような新しい発想や感覚も必要であるということをしかりと踏まえながら学校運営協議会の委員を選任していきたい。

その他の質疑・質問

- ふるさと住民登録制度について
- お試し住宅について
- 災害時における避難ならびに医療体制について
- 安濃中央総合公園について
- 地域懇談会について

災害時には特例的にマイナ保険証やお薬手帳による処方確認で医薬品を受け取ることができる



**問** 津地域における交通不便地区等についての考え方は

津市コミュニティバスが運行していない津地域にも栗真町屋町などの交通不便地区があり、リクエスト型交通の利用を望む声があるが、導入に向けた考えは。

また、殿舟団地のように民間事業者の一般路線バスが通っていても、便数が少なく、朝病院へ行く夕方まで帰るバスがないような地区が存在するが、このような困りごとにどう応えていくのか。

**答** 地域からの声を詳細に把握し、解決に向けて取り組んでいく

津・香良洲地域内の交通不便地区については、リクエスト型交通の導入を計画しており、令和8年度中の運行開始を目指していることから、対象地区を特定した上で、自治会への説明や意見の聴き取りなどを行い、運行案を作成していく。

また、民間事業者が運行する一般路線バスに関して、便数やダイヤがニーズに合っていないといった意見があった場合は、既存の公共交通がより利用しやすいものとなるよう、その詳細を把握した上で運行事業者に地域からの声を届け、増便やダイヤ改正、停留所の移動等を働きかけていく。

その他の質疑・質問

- 津市まん中広場を廃止する議案について
  - 廃止後に整備される駐車場は、大型車両などテナント利用者以外が止まる状態にならないか
- 多文化共生社会の津市を
  - 全国知事会議青森宣言を踏まえた市長の考えは
- 杜の街から小学校への長距離通学について
  - 地域住民による見守り活動の課題は

杜の街は新しい区画の分譲が進み、通学距離が長くなっている。見守り活動の人手不足も課題

